

2026.2.1

第176号



○いたくら 議会だより



今月の主な内容

- 12月定例会・議案審議 P. 2
- 一般質問（6人） P. 4
- 議会タウンミーティングレポート P. 10
- 視察研修レポート・議会日誌ほか P. 12
- みんなの声・編集委員の声 P. 14

板倉町議会ホームページへ

QRコードを読み込むと議会
ホームページが開けます



教育委員会人事案件などを17議案を可決 一般会計・特別会計などの補正予算を可決 一般質問に6人の議員が登壇

令和7年第4回定例会が、12月9日(火)から12月12日(金)までの4日間の日程で開かれました。今回の定例会では、人事案件2件、条例の制定議案1件、条例の一部改正議案5件、規約変更協議に関する議案1件、財産処分協議に関する議案1件、指定管理者の指定議案1件、令和7年度補正予算議案5件、陳情1件の合計17議案を審議、可決しました。

人事案件

◆板倉町教育委員会教育長の任命について

令和8年1月18日付けで任期満了となる赤坂文弘さんを引き続き任命することに賛成多数で同意しました。

「板倉町教育委員会教育長の任命について」の賛否											
審議結果	荒井英世	青木秀夫	市川初江	延山宗一	小林武雄	亀井伝吉	森田義昭	青木文雄	尾澤将樹	藪之本佳奈子	須藤稔
可決	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
賛成=○ 反対=×											

※議長には表決権がなく、可否同数の場合に裁決権を行使する。

◆板倉町教育委員会委員の任命について

令和8年3月7日付けで任期満了となる虎口沙織さんを引き続き任命することに同意しました。

議決議案

◆板倉町公園条例の一部を改正する条例について

町から群馬の水郷の管理委託を受けている邑楽漁業協同組合が、令和8年3月31日をもって解散する予定です。群馬の水郷は、町の都市公園として指定されていることから、令和8年4月1日からは、町が管理を行っていくこととなります。公園内の釣り池での釣りについては、漁業権に基づき漁業料を邑楽漁協で徴収し

ていますが、解散後は漁業権、遊漁料がなくなることになります。群馬の水郷や釣り池を管理するにあたっては、管理人の配置、除草やトイレ、ごみの清掃、フナ流放流など一定の経費が必要になることから、令和8年4月1日以降の釣り池での釣りについては、これまでの漁業権に基づく遊漁料に代えて、有料公園施設としての有料公園施設使用料を徴収したく本条例を改正するものです。

問 須藤議員

改正案の減免規定と子どもたちの公園使用料はどのようになっているのか。

答 産業振興課長

例えば、群馬県民の日などに無料で釣りができるようなことを想定しています。また、子どもが半額ですが、そういったことではなく、一律に1日千円、年度は1万2千円という規定になっています。

◆その他の議決議案（初日）

○板倉町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

○板倉町職員の給与に関する条例及び板倉町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

○町長、副町長及び教育長の諸給与条例の一部を改正する条例について

○議会の議員の議員報酬及



び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

○板倉町行政組織条例の一部を改正する条例について

○群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について

○群馬県市町村総合事務組合の災害弔慰金の支給等に関する事務に係る共同処理の取りやめに伴う財産処分に関する協議について

補正予算審査

初日の本会議終了後、予

算決算常任委員会を開催し、補正予算関係5議案の審査を行いました。

議案第57号 令和7年度板倉町一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億4,438万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ70億4,012万8千円とするものです。

問 荒井委員

基幹相談支援センター運営業務委託料663万円（3年度分）の債務負担行為補正について、説明いただきたい。

答 福祉課長

令和8年4月1日から大泉町を除く館林邑楽1市4町で障がい者基幹相談支援センターを設置するため法人業務委託料です。令和11年3月31日までの3年度分の5,100万円を各市町が均等割30%、人口割70%で負担します。事務所は館林市内に置き、町で解決できない相談の場合に、基幹相談支援センターが相

談業務を行います。

問 藪之本委員

歳出の農業者等営農継続支援事業補助金100万円の追加について、農業継続を支援するための補助金だが、高額な農機具が買えない人たちへも支援が行き届くような内容になっているのか。

答 産業振興課長

比較的安全な機械でも対象になるように、上限10万円の3割補助となっていますので、34万円以上であれば上限10万円が受けられます。中古品の申請も何件かありますが、使いづらいところもありますので、今後改善していきたいと思っています。

問 延山委員

水郷公園内防護柵等工事費200万円の追加について、補正の理由を伺いたい。

答 産業振興課長

当初予算では、釣り池防護柵のロープの張替え、子供池の周りや蛭田沼の東側と南側の防護柵の工事を想

定していましたが、釣り池の護岸が傾いてしまい優先して対応しましたところ、高額な工事となり、蛭田沼の工事の金額が不足したため追加補正をしたものです。

問 市川委員

歳出の住宅リフォーム補助金商品券購入代150万円の追加について、この事業は右肩上がりです。進んでいると思うが、現在の状況を説明していただきたい。

答 産業振興課長

今年度500万円の予算でスタートしていますが、現状の申請といいますが、問い合わせも含めまして、当初予算を超える見込みになりましたので、追加補正をしたものです。

問 須藤委員

歳出の福祉タクシー利用補助金31万3千円の追加について、この利用状況について伺いたい。

答 健康介護課長

福祉タクシーは、お申し込みいただいた方の約7割の

方がご利用いただいているのですが、今年度から1回の利用料を無制限にしたことで、利用が伸びていると考えています。この先を見込みまして、昨年度よりも少し多めに補正をしたものです。

問 青木秀夫委員

歳出の定額減税・不足額給付事業508万円の減額について、減額の理由を伺いたい。

答 税務課長

令和6年中の最終的な所得等の実績に基づいて対象者の把握をしたところ、転入者の減税について、当初予算の見込みよりも少なかったことから、給付実績によりまして、減額補正をしたものです。

◆一般会計のほか、後期高齢者医療特別会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、下水道事業会計の各補正予算についても、12月10日の本会議において全会一致で原案どおり可決となりました。

一般質問

議会 2 日目 12月10日(水)



森田 義昭 議員

女性職員の活躍推進にむけた
取組について
農業を生かした町づくりに
ついて

女性の課長が少ないのではないのか。

問：女性職員の数は。

答：総務課長 7 年度当初 4 月 1 日付の正職員の数、男性が 84 名、女性 53 名、女性職員の割合は 38.7 % である。

問：当町には、女性職員の活躍の推進に関する、特定事業主行動計画がある。令和 3 年から令和 8 年までの 5 年計画と、全面的に推進するとなっているが、当町の女性課長の比率を知りたい。

答：総務課長 女性課長については 11 人中 2 人、約 18 % となっている。

問：女性課長が少ないと思

うが。

答：総務課長 昇格に関しては、特に男女による区別や規定、条件等はない。また、その他の制度にしても男女の区別はない。人事評価や適性を考慮した上で決定している。課長職の比率で言つと、邑楽郡でも一番高いような比率になっている。

答：町長 区別ではないが、多くの女性職員の方は結婚、出産がある。これをハンデではなく、人生経験、社会経験と捉え、差別なく進めていきたいと思つてい

問：特に当町には、女性職員から苦情を聞くシステムがあるのか。

答：町長 直接苦情を聞いたことがない。自分の公約の中で風通しのいい職場ということ、色々な場面では、男女分け隔てなく話を聞いている。私的にはオープンに風通しの良い職場環境づくりをしてい

る。

大学生のキュウリ研修について

問：当町において、大学生による農業研修が行われた。詳細を知りたい。

答：産業振興課長 大学 2 年生による、農家の宿泊実習である。

問：キュウリと聞いているが当町のキュウリは全国的にも有名なのか。

答：産業振興課長 冬のキュウリが出荷量 8,200 トンで全国 4 位、夏秋 2,730 トンで全国 7 位となっている。

問：これを機会に移住へ繋がられないか。

答：産業振興課長 今後も

一般質問

議会 2 日目 12月10日(水)



青木 秀夫 議員

町は懲罰動議提出議員に求償権を
行使する考えはないか
立替金は税金で、町の債権である
債権（立替金）の請求は早急に

控訴について協議されたのか

問：公務員の不法行為については、国家賠償法が適用される仕組みになっている。本件判決も国家賠償法によって判断されたものである。そのことを踏まえてどう。形式上の被告である板倉町は、懲罰動議を提出した 5 人の議員と控訴するかどうかを相談したのか。

答：総務課長 相談していない。

訴状への対応についての協議は

問：令和 6 年 5 月 10 日以前 橋地方裁判所から訴状

が届いているはずである。その訴状に対して、事実上の当事者である 5 人の議員とどのように対応するか協議をしたのか。

答：総務課長 町が被告であるので、町の判断で反論する旨を申し出た。

判決書への対応について

問：10 月 29 日の前橋地方裁判所の判決に対して、形式上の被告である板倉町は、現在、どのような対応をしているか。

答：総務課長 裁判所の決定に従い、損害賠償金の支払いのほか、適切に処理する。

損害賠償金の支払いは、立替金ではないか

問：損害賠償金の支払いは、5 人の議員の代わりに板倉町が支払っているということではないのか。

答：総務課長 そういうことではない。5 人の議員に損害賠償金を請求すべきということが理解できない。5 人の議員に責任を負わせるなら、板倉町を相手に請求など起こさなければよいのではないかと思う。言っていることが矛盾している。

問：板倉町が、損害賠償金を支払うということは、不法行為者 5 人の

議員に対する立替えをしていることではないのか。

答：総務課長 立替金という解釈が分からない。理解できない。

立替金について

問：立替金は、町の債権と違うのか。

答：総務課長 立替金が債権ではないと言っているのではなく、損害賠償金は立替金ではないと言っている。債権という考え方が理解できない。

立替金未請求は、地方自治法違反と思うが

問：立替金は、貸付金等と同じく債権である。町

色々な機会を通じて、その辺の PR をしていきたい。



ファームステイ実習の様子



森田義昭議員
一般質問



青木秀夫議員
一般質問

一般質問

議会 2 日目 12月10日(水)



藪之本 佳奈子 議員

入学時の経済的負担軽減策について

問：子どもの教育に係る負担と不安は年々重くなっており、特に入学時の経済的負担は家計に避けられない大きな出費である。将来的に中学・高校入学時にも支援していく考えはないか。

答：子育て支援係長 現状の政策では、中高、特に高校入学に対応する支援金はないが、母子父子家庭児童入進学支度支給事業というものがある。

答：町長 近隣と比較しても劣ることなく、十分な支援を実施している。



問：小学校入学時には最低でも13万円、中学校で20万円、高校でも30万円ほどが一時的に家計への負担が発生していることについて町の見解は。

答：子育て支援係長 経済的負担は大きいことは認識している。

答：町長 給食費の無償化

支援は十分？ 入学時負担・高齢者通院支援を 現場の声から考える



藪之本佳奈子議員
一般質問

で他の市町村から比べれば恵まれている。積み立てて頂ければ54万円分が中学、高校に上がる時にあるわけで、それ以外のお金と教育にかかるお金は各家庭が判断するもの。いくら必要かというニーズ調査はできないし、する予定もない。

問：国の方針で、4月から小学校の給食費無償化が進んでいる。板倉町では、浮いた財源の使い道を検討していくことになるが、子どもの成長の節目に確実に届く支援を検討する考えはあるか。

答：町長 子育て部分だけでなく、高齢者の移動

手段を含めた高齢者へのサービスも含め、優先順位の高い順に使っていく。

高齢者の通院に係る交通手段の確保について

問：地域資源の一つに、社会福祉協議会が実施する思いやり福祉サービスがあるが、実施状況をどのように認識しているか。

答：健康介護課長 昨年度の合計で136件、延べ172時間、今年度10月までの集計では、59件、延べ70時間利用されている。

問：町内には総合病院がなく、この思いやり福祉サービスの送迎対象を



町外の医療機関まで拡大する考えはないか。

答：健康介護課長 病院の送迎は医師の診察内容を共有するために家族の付添いを推奨したい。しかし、家族の付添いが出来ない方もいるため、福祉タクシー等のことについても検討に入ったところである。必要性を十分見極め、社会福祉協議会とは検討していく。

問：福祉タクシー利用券を頂ける対象の幅が狭いと聞けが今後の反映につなげられないか。

答：健康介護課長 対象者の拡大を考えていきたいと思っている。今後議員にもまたご意見を頂ければと思っている。

一般質問

議会 2 日目 12月10日(水)



尾澤 将樹 議員

人口減少問題について 救急医療体制の整備について 商業施設等の誘致について

消滅可能性自治体と言われることについて

問：板倉町は、複合的な要因によって人口減少が加速している。この状況に向き合い、現在の人口を維持していくため、町としての新たな対策はあるのか。

答：企画財政課長 当然人口減少に歯止めをかけるべく、町の方も様々な施策に取り組んでいる。7年度から新設した結婚新生活の支援補助金や、妊婦に対する遠方の分娩施設への交通費支援扶助、今までやってきている出産・子育て応援給付金、子育て支援金、学校給食

人口減少の主な要因とは何か

の無料化など子育て支援対策は継続して実施しているところである。

問：板倉町の合計特殊出生率は、県内においても極めて低いことから、館林邑楽地域の医療資源として不足している周産期医療体制を整備し、安心して出産できる環境の構築が中長期的な施策として有効であると思われる。町の考えはどうか。

答：健康介護課長 周産期医療体制の整備により、安心して出産できる環境の構築が出生率の増

加に少なからず影響すると思う。町としては、県及び町村会、県議会等に対して、地域の実情に応じた医療体制の整備に関しての要望を重ねており、今後も続けて要望していく。

問：この館林邑楽地域には、救急医療資源が大変不足している。初期救急と二次救急医療に対応できるクリニックの必要性が高いと思われるが、町の考えはどうか。

答：健康介護課長 救急クリニックがあれば良いと思うが、後方支援



公立館林厚生病院

の病院が整ってこそ機能するものであると思っている。現実的な方策としては、公立館林厚生病院における救急医療体制の維持・強化に取り組むべきであり、そのための財政支援と体制整備に係る要望を実施していきたい。

駅前商業業務用地について

問：直近3年において、企業等から交渉、照会があった件数や業態について伺いたい。

答：産業振興課長 令和6年度に36社、令和5年度に31社、令和4年度に28社と交渉している。業態としては、小売業26社、製造業23社、飲食サービス業15社、倉庫業7社、運送業4社、電気業4社、不動産業2社、通信業1社、金融業1社、リース業1社、その他11社である。なお、駅前ロータリーの南側、駅西口から出て左側の広い用地1、4ヘクタールの半分、駅側の0.7ヘクタールについては、既に仮契約を締結している。



尾澤将樹議員
一般質問

一般質問

議会 2 日目 12月10日(水)



小林 武雄 議員

町長2年目の意気込みは 生成AI活用で業務の効率を 相続登記義務化と町の現状

2年目の町政運営は

問 町長就任から1年間の町政運営を振り返り、印象に残った出来事を伺いたい。

答 町長 町制施行70周年記念式典をはじめ、町主導ではなく若者や住民発案により、音楽フェスやクラシックカーフェス、群馬交響楽団弦楽公演など多彩な事業を主体的参画で成功裏にできた。

問 町長の2年目に向けた町政運営への意気込みを伺う。

答 町長 2年目に向けては、これまでの成果を着実に前進させるとともに将来を見据えた施

策を一層推進していきたい。具体的には、公園や「群馬の水郷」を含む環境整備、空き家を活用した移住・定住促進、保育園と児童館の一園化による子育て環境の充実を進める。併せて、産業用地の確保・活用、道路・橋梁など社会基盤の整備、教育施設の充実にも引き続き取り組む。さらに観光・文化振興の推

進、小中学校一貫校化の検討、公共交通の充実と交通弱者対策、さらにはマツチングアプリの活用などの新たな視点による施策に挑戦し、町の持続的発展に繋げていく。

生成AIの活用を

問 生成AIを活用した業務効率化について、本町で本格的導入を検討しているのか。

答 総務課長 本町では、行政文書作成における効率化や職員の業務負担の軽減を図るとともに、町民の皆様にとって分かりやすい文書を提供することを目的として、生成AI（Ch

atGPT等）を文書作成の支援ツールとして活用することを検討している。今後は、情報セキュリティや運用ルールを十分に整理した上で、効果的な導入の可能性について研究を進めていく。

相続登記の把握状況

問 令和6年4月から相続登記が義務化されたが、本町では未相続登記の件数を把握しているのか。

答 税務課長 未相続地の状況については、固定資産税の納税義務者7,532人のうち、相続登記が未了となっている案件が1,394人

一般質問

議会 2 日目 12月10日(水)



須藤 稔 議員

農地の荒廃の対応について 高齢者の社会参加支援策は

農地耕作放棄面積は

問 農地の耕作放棄面積で現在確認されている面積は、どのくらいあるのか。

答 産業振興課長 農業委員会です。1回実施している農地利用状況調査では、町内の耕地面積は2,120ヘクタールで、その内23

1ヘクタール、約1.1%が遊休農地である。

問 町の10年後の農地後継者未定予想面積は。

答 産業振興課長 農業関係団体との協議を踏まえ、昨年度末に、10年後の農地利用を見据えた地域計画を策定した。この地域計画は、将来の担い手と農地の関係を地図化し、農地利用の確保と集約化を目指している。農業振興区域内の農地面積は1,925ヘクタールであり、10年後には後継者未定面積が852ヘクタールとなる見込みである。このため、残る農地1,072ヘク

タールが集積対象面積となる。

問 今後の農地荒廃対策は。

答 産業振興課長 今後の耕作放棄地対策としては、耕作放棄地の拡大を防止することが最も重要である。そのため、高齢化等により耕作が困難となった農地については、農業委員及び農地利用適正化推進委員に農地の貸し借りについて相談いただき、意欲ある担い手に耕作をしてもらうことを考えている。また年一回実施している農業委員の農地利用状況調査により遊休農地と判断された農地については、所有者または耕作者に

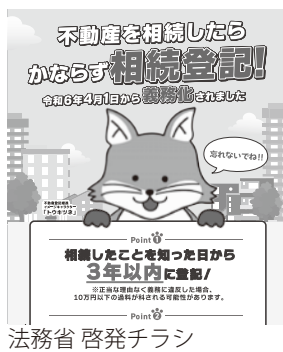
地域貢献の後押しは

問 高齢者が行う地域の生活道路や通学路の草刈り、清掃活動についての支援策は。

答 都市建設課長 道路除草関係については、現在のあるところ町として直接的な補助制度はない。ただし県道を一部でも含む活動であれば、群馬県の補助制度を活用できる場合もある。例えば老人会など責任の所在が明確な団体であり、活動内容が公共性を有し、事業として必

分ある。これは全体の約18.5%に相当する。
問 過去に実施した公共道路工事において、相続登記が未了の土地が存在すると聞いているが、その対応及び処理の現状について伺う。

答 都市建設課長 過去の公共道路工事に関する土地のうち、相続登記が未了となっているものは約350筆になる。これらは、関係法令に基づき適切に管理しつつ、今後も相続登記の解消に向けて取り組んでいく。なお、未登記部分についても、道路法等に基づき道路としての管理は行っている。



法務省 啓発チラシ



小林武雄議員
一般質問



須藤稔議員
一般質問

議会タウンミーティングレポート

議会タウンミーティングでは、24の方に参加をいただきました。参加者が4グループに分かれ、「町の活性化に必要なもの」をテーマとして、自由に思い思いの意見を書き出してもらい、議員を交えてのグループディスカッション、意見集約の後、グループごとに発表をしていただき、たくさんの貴重な意見を聴くことができました。

発表内容（1班）



東洋大学を防災拠点、空き家を避難所として活用、企業とのコラボや他市町村との連携、コンサルタントを活用してふるさと納税特産品を充実させた町おこし、遊休農地の農業体験、クラウドファンディングを活用した農業振興に取り組み、町の魅力を内外にしっかり知らせる。

発表内容（2班）



自転車の拠点（駐輪・温浴・飲食施設）を駅前に整備し、渡良瀬川周辺のサイクリングと農産物販売を組み合わせた交流人口の拡大、遊休農地を活用し、地域住民が作る食材を学校給食や販売に活かす農業の活性化、部活動の地域移行を見据えた不登校児を含む子ども居場所づくりが必要ではないか。

※2班は3人の方から発表がありました。

QRコードを読み込むと各班のグループ発表の概要および参加者アンケートの結果をホームページでご覧になれます。



発表内容（3班）



安心して暮らせる町づくりとして、制服やカバンなどのリユースバンク、子育てや高齢者サロンの人材バンク、空き家バンクの創設、外国人を含む人との繋がりが持てる仕組みづくりなど、また、専門家を使った特産品のブランド化とネット販売などの販路拡大に取り組むことで、町の活性化につながるのではないかと。

発表内容（4班）



小中高一貫校、公民館でも行うようなスマホや防犯などの大人向け教室として東洋大学施設を活用、道の駅建設や空き家再生によって人が集まり人がつながる町づくり、街灯整備や住民同士が気軽に挨拶を交わせる物理的にもコミュニティ的にも明るい町づくりの3本の柱として取り組んではどうか。

参加者の声（アンケートから）

- ・今後も話し合いの場を作ってもらいたい。（20代男性）
- ・継続的なタウンミーティングの開催を。（40代男性）
- ・定期的に開催して欲しい。（70代以上男性）
- ・今回のタウンミーティングで出てきた意見が議会で取り上げられたのか、また、政策につながったのか、情報を公開して欲しい。（40代男性）
- ・ママさん、お年寄りや子供たちの意見も聞きたい。（50代女性）

議会の声（荒井英世議長）

参加者の皆さまから貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。今後も町民の意見を的確に把握するため、懇談会等を開催する予定です。その中で出された意見も含め集約して、検討テーマを選定し、議員間協議を重ね合意形成を図ったうえで、町執行部への政策提言につなげます。政策提言が町の施策にどう反映されたかについては、議会だより等で公開する予定です。

町民との意見交換を通じて、町政の発展と議会の成長に結びつけていきますので、今後も幅広い年齢層の方が積極的にご参加くださいますようお願いいたします。

皆さんのつぶやきを
議会活動へ反映させていただきます



議会日誌

11月

21日 第3回臨時会／議会運営委員会／全員協議会／議員のみ協議会

12月

9～12日 12月定例会（本会議、一般質問、各常任委員会）
議会運営委員会／全員協議会／議員のみ協議会／
議会広報特別委員会

23日 加須・板倉利根川新橋建設促進協議会 埼玉県要望

1月

7日 加須・板倉利根川新橋建設促進協議会 群馬県要望

21日 全員協議会／議員のみ協議会

30日 東毛広域幹線道路協議会 要望活動（群馬県庁）

議会のICT化を推進！ ～デジタルは慣れです～

邑楽郡町村議会議長会議会議員研修会
令和7年12月22日(月) 板倉町役場



今年度の研修会は、郡内議会議員等70人以上が出席し、ICT先進地である茨城県取手市から市職員の岩崎弘宜氏を講師としてお招きし、ご講演をいただきました。岩

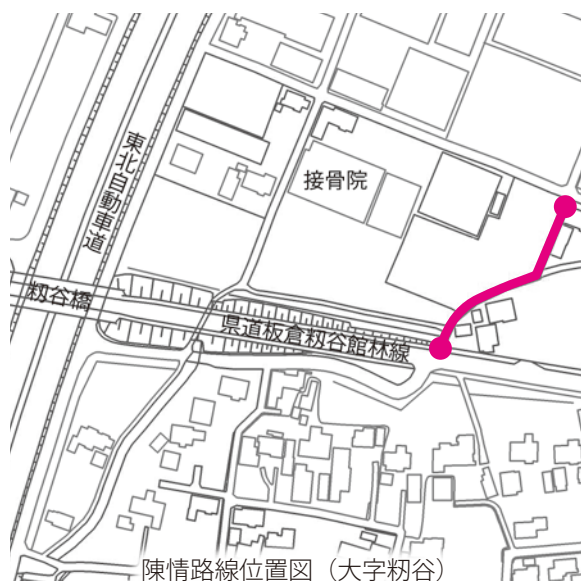
崎氏は「デジタルは難しくない。慣れ。病気などの有事のときでも職責を果たしてほしい。」と話され、今後役立つAIを使った議会だよりや議会答弁書の作成システムの実践もしていただき、有意義な研修となりました。

令和7年第4回定例会 陳情現地調査



12月9日の議会初日、産業建設生活常任委員会に付託された請願1件について、委員全員による現地調査を行うなど、慎重に審査を行いました。審査結果については、同月12日の議会最終日に須藤稔委員長

長から報告され、全員一致で採択されました。
◆町道6117号線の拡幅整備について
請願者 第3行政区長 委員長報告要旨 本路線は、現況幅員が非常に狭く、自動車等の通行に支障を来している。この現状を総合的に勘案し審議した結果、本路線の拡幅整備を行うことで、地域住民等の利便性や安全性の向上が見込まれることから、願意を妥当と認め、採択とする。



陳情路線位置図（大字初谷）

第3回臨時議会 執行部上程議案

令和7年11月21日に開かれた臨時会では、令和7年度補正予算議案を全員一致で原案可決しました。

補正予算議案

◆令和7年度板倉町一般会計補正予算（第4号）について

公立保育園・公立児童館建設事業費として、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ858万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ66億9,574万1千円とするものです。



視察研修レポート

常任委員会合同視察研修

● 令和7年11月18日(火)～19日(水)
● 茨城県行方市・山梨県北杜市

よりよい板倉町を目指して、先進地に学ぶ

産業／建設／生活

関係人口とブランドの創出

移住や定住に至らずとも地域と関わりを持ちたいという声は年々高まり、「ふるさと住民票」は、地域と都市を繋ぐ新しい仕組みとして期待されています。これは、自治体が自らの事情に合わせて自由に決められ、ゆかりのある人たちに登録を促すことで交流を生み出し、今までに見えなかった提案・提言を受け止めることで、町の良さを見いだすことが可能です。行方市は人口減少の中、この取組を通じ、交流・関係人口を増やし、知名度の向上、観光客集客、移住定住の促進につなげたい考えです。現状はアナログ運用ですが、総務省もデジタル化を進める見込みで、今後の成果が期待されています。



産業建設生活常任委員長 須藤 稔記

き出してきたそうです。甘藷の普及拡大活動として着目した点は、行方市とJAなめかた食品メーカー（白ハト食品工場（株））との連携により、旧小学校跡地を活用して農業生産法人を設立したこと。このプロジェクトは行政に大きな財政負担を求めず、民間の発想を活用してブランド戦略を展開し、「行方かんしよ」を地域の顔にしました。今後は、6次産業により付加価値を高めることで、新たな担い手としての若者や移住者による新規就農の拡大が期待されます。

総務／文教／福祉

豊かな自然と共生する移住定住戦略

私たちは、山梨県北杜市へ視察研修に赴きました。本研修の目的は北杜市の移住定住促進の取組を学ぶこと、特にその成功要因と地域活性化への波及効果について理解することでした。北杜市の移住定住促進の取組が成功しているのは、官民一体となつての多角的な移住定住の取組と、北杜市の移住定住促進を進める強い意欲、真摯な取組姿勢にあります。きめ細かな移住定住の取組の中で、特に軸になっているのは、



総務文教福祉常任委員長 青木文雄記

①移住定住相談員や地域おこし協力隊による情報の提供サポート
②ほくとファンクラブ、ほくと交流会、ホームページ、インスタグラム、ユーチューブ、ラインを活用した北杜市の魅力情報の発信
③空き家バンクの整備
移住前に短期滞在できる「お試し住宅」などの住まい環境整備
④サテライトオフィス
を「道の駅」に設置、コワーキングスペースを図書館やホールなどに設置したワーケーションの受け皿整備
⑤医療体制の充実、健康づくりの推進、子育て支援、女性の活躍の施策分野の取組強化ということでした。

板倉町での 学校生活を よりよく

のべやまじゅん や
延山潤哉さん
(板倉中学校2年)



僕は学校での生活が好きです。廊下での他のクラスとの関わり合いや、外での活動はすごく気持ちよく、運動したり、リフレッシュができたりします。しかし、これらのことの中でちょっと気になることがあります。それは学校の設備の問題です。板倉中学校では、廊下がオープンになっていて、風が強い冬の日などに移動教室をすると、とても寒いです。また、外の木からは匂いが気になる銀杏などが落ちてきます。しかし、東小、西小では廊下に壁がついていて、木から銀杏が落ちてくることはありません。このことから、今は使用されていない東洋大学を小中一貫にすることで、僕が思う学校の設備の問題は一気に片付くと考えています。早くしないと徐々に東洋大学も古くなってってしまうので、ぜひ検討していただけると幸いです。

子ども達に夢と 希望を与えられる 板倉町へ

すずき あつよし
鈴木篤喜さん
(大字板倉)



みんなの 声

私は、板倉町の教員としてお世話になっていの中で危惧することがある。それは、教え子達の大多数が町外へ出ていったきりの現状だ。数年後の板倉町を憂慮していた最中、今年度から「議会タウンミーティング」が開かれるということで、町の方針が気になり、参加してみた。参加者は町の活性化に向け、思い思いのことを述べていた。私は、活性化には以下の2種類があると思う。1つ目は住民の満足度向上。2つ目は、発展のための政策だ。今の板倉町には2つ目が喫緊の課題だと考える。発展の鍵は、「立地、健康、国際交流」を軸とした、子ども達が安心して定住できるまちづくりだろう。まずは板倉町の魅力向上と発信。そして今回の機会のような住民を巻き込んだ協議。その先に、子ども達が板倉町の魅力を誇れ、生涯に渡り定住可能な板倉町があることを切に願う。

編集委員の声

あなたを待っている場所がある。天空のきらめきと、大自然の言葉を超えた感動が待つ北杜市へ。これは、北杜市の魅力を伝える「ほくとりつぷ」、初秋の八ヶ岳山麓を背景に、広告コピー冒頭のあいさつです。北杜市の山岳景観に感動し、余韻を持って板倉町に帰り、改めて町の自然風景を眺めてみた。板倉町は風が吹く冷たい空気の日、板倉東洋大前駅舎から南西に富士山が見え、北部公民館に向かう県道海老瀬館林線から、赤城山、日光白根山、男体山の連峰景観が美しい。世間は板倉町のことを驚くほど知らない。発信力を高め、町の魅力を日本の隅々まで届けたい。

(議会広報特別委員 青木文雄記)

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます 議会傍聴

議会の本会議は公開制となっています。会議当日、受付票に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。

◆3月議会定例会(予定)

- 会期** 3月6日(金)～3月19日(木)
議事 (1)条例改正などの議案審議・採決
(2)一般質問
(3)令和8年度予算審議・採決

※会期等が変更となる場合もあります。

※詳しい日程等については、後日議会のホームページでお知らせします。

お問い合わせ先

議会事務局 TEL.82-1111 (内線701)
TEL.82-6154 (直通)